

夏休みに貴重な体験 公民館教室



先生のアドバイスを受けて小皿の制作をする参加者

町公民館で小学生を対象にした「夏休み子ども教室」が行われました。

7月26日の「陶芸教室～小皿づくり」は、坂下明美さん(福島)を講師に迎え、30人が参加しました。長方形の粘土を丸や花の形に切り抜き、型に粘土を押しつけて成形した後、竹串で模様を描きました。昆 歩輝さん(福島小4年)は「物を作ったりするのが好きで参加しました。模様は自分で育てているカブにしました。とても楽しかったです」と話してくれました。

7月29日には20人が参加し「おもしろ科学教室～いろいろスライムを作ろう！」が開催され、やわらかく伸びるスライムの特性を生かして遊ぶ姿がありました。

8月8日の「苔テラリウム～ちっちゃなこけ庭作り」では、直径10cmの容器に色の異なる砂や石、苔を敷き詰め自分だけの庭を作りました。山崎正翔さん(新屋小6年)は「苔や石の置く場所を決めるのが難しかったです。大切にかざります」と話しました。



スライムづくりは、水分量としっかり混ぜることがポイント



ピンセットを使い苔や石を配置

楽しみながら学ぶ おやこの食育教室

甘楽町食生活改善推進協議会(柏葉栄子会長)は、7月24・26・31日、にこにこ甘楽で「おやこの食育教室」を開き、3日間で19組47人が参加しました。

この教室は、料理を通じて親子のコミュニケーションを深め、その楽しさや大切さを感じ「食」の魅力を知ってもらうことを目的としています。献立は「野菜だしのミネストローネ」「スコップコロッケ」「ミルク寒天」の3品で、親子で協力しながら料理を完成させました。

できあがった料理



日越奏翔さん(小幡小1年)は「トマトのみじん切りがうまくできてうれしかったです」と感想を述べ、一緒に参加したお母さんも「野菜のだしがおいしく、普段よりも野菜をたくさん食べてくれて驚きました。家でも作ってみようと思います」と話しました。



食改推会員のアドバイスを受けみじん切りに挑戦

県産木材に親しむ 親と子の木工広場

第38回親と子の木工広場(富岡木材組合・町建設業協会・県建築業組合連合会甘楽支部主催)が7月30日、富岡製材協同組合プレカット工場(白倉)で開かれ、小学生と保護者28組61人が参加しました。参加者は、事前に書いてきた設計図を基にしたり、その場で木材を手に考えたりしながら、県産木材を使ったイスや本棚などの作品づくりに挑戦しました。

父親と参加した熊井明日奈さん(福島小5年)は「最初はくぎをまっすぐ打つのが難しかったけれど、上手に打てるようになり、楽しかったです」と話してくれました。



親子で力を合わせて作品を作る参加者

また、作品展が8月8～18日にら・ら・かんで開かれ、本棚やイスなど11点が展示されました。来館者は、工夫を凝らして作られた木の温もりあふれる作品に見入っていました。



力作が並んだ作品展

小幡地区が優勝！ 地区対抗野球大会



第40回町地区対抗野球大会が7月23日、甘楽野球場で開かれ、小幡地区が熱戦を制しました。結果は次のとおりです。(敬称略)

- ◆成績 優勝 小幡地区(左写真)
- 準優勝 福島地区
- ☆個人賞 最優秀選手賞 熊井戸祐介(小幡)
- 殊勲賞 山田裕貴(小幡)
- 敢闘賞 斉田竜輔(福島)

鳳凰聖徳 新酒鑑評会で金賞受賞！

清酒の品質や製造技術の向上を目的とした2022酒造年度(22年7月～23年6月)全国新酒鑑評会が開かれ、聖徳銘醸株式会社(白倉)の大吟醸「鳳凰聖徳」が最高賞の金賞を受賞しました。全国から818点(うち県内17点)の出品があり、218点(うち県内8点)が金賞酒に選ばれ、同社の受賞は県内最多の通算18回目です。

工場長で杜氏の瀧澤幹夫さんは「華やかな香りと膨らみのある味わいでキレのある新酒ができました。米の質、日々の気温や湿度、こうじ作りやもろみの発酵に左右されるなど難しさもあるがその分おもしろさもあります。そういった技術を生かし作られた酒を地元の皆さんにも楽しんでもらいたいです」と話されました。



茂原町長に金賞受賞を報告する瀧澤工場長(右)

イタリア人留学生 道の駅甘楽で研修

町と研修協定を結ぶイタリア・シエナ外国人大学の学生2人が、8月3日から19日まで(一財)甘楽町都市農村交流協会(三木純一理事長)で職場研修を行いました。

カテリーナ・グラッシーニさんとチェルタルド市出身のエンツァ・ブオノコーレさんは、今年4月から7月まで桜美林大学(東京)に短期留学をしており、道の駅甘楽では日本語で接客したり、簡単な調理を行いました。



2人は、研修以外にも積極的に日本の文化や町の人々と触れ合いました。カテリーナさんは「甘楽町は自然も多く美しい町です」と話し、エンツァさんは「日本の皆さんはとてもやさしくしてくれました」と笑顔で振り返り、感謝の言葉を口にしました。

浴衣姿で花火を觀賞したカテリーナさんとエンツァさん(写真左)



あすなるジュニア 県スポ少大会優勝!



第40回県民スポーツ祭・第59回群馬県スポーツ少年団バレーボール大会が8月12日に桐生市民体育館で行われ、あすなるジュニア(池田多春監督)が優勝しました。

1次予選を勝ち抜いた上位16チームが2ブロックに分かれ熱戦を繰り広げ、あすなるジュニアはAブロックで優勝し、10月に行われる関東大会予選のシード権を勝ち取りました。

金井愛莉主将は「2大会連続で決勝へ進出し、優勝できたことがうれしいです。次は関東大会予選なので、しっかり出場できるよう頑張ります」と新たな目標を話しました。

古代ハスが今年も花開く 国峰城外濠跡

国峰地区に残る国峰城外濠跡に濃いピンク色をした古代ハスが今年も咲きました。

国峰城保存会が平成17年に葦に覆われた濠の整地を行った後に古代ハスを植え、昨年からはその思いを国峰城外濠を守る会(富岡 今朝造会長・会員11人)が引き継ぎ、除草作業を行ったり害獣防護ネットを設置するなどの対策を講じ、古代ハスを守り育てる活動をしています。

富岡会長は「今年はたくさん咲き、写真を撮りに訪れる人も多く見かけます。これからも花を毎年咲かせられるよう守る会の活動を続けていきます」と話しました。



次々に咲く大輪の花

5月、外濠跡の整備を行う守る会の皆さん